

パーマシールドケースメント及びオーニング窓 ナローマリオンのによる連窓方法

4. ガゼット (板金) の取付

G. 図3に示すように、成型されたガゼットを取り付けます。フレキシフレームの場合は、ユニットが接合された後フランジを釘付けできるような、比較的巾の狭いガゼットが必要です。16mm長さの釘あるいは釘打機で固定して下さい。他のガゼットも全て同じように取り付けて下さい。クランプを取はずし、内部押縁を元の位置に戻し、31.7mm長さの仕上げ釘で取り付けて下さい。

5. 運搬用すべり板の取付

H. 914mmおよび1219mm巾のユニット下枠のガゼット上にすべり板を2つ取り付けます。ユニット巾がそれ以上の場合は、上枠のガゼット上に木の筋交いを当てて下さい。

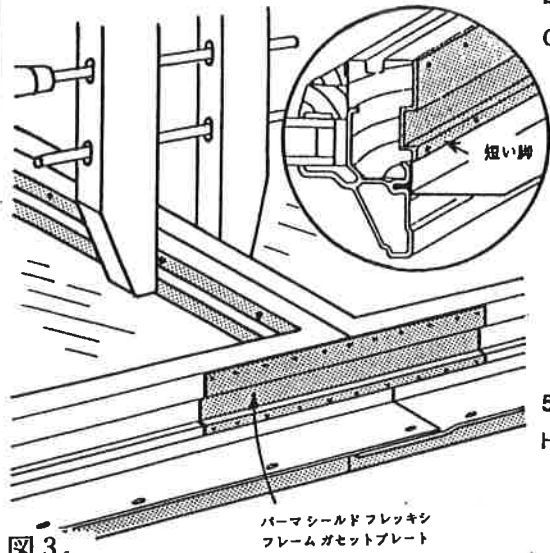
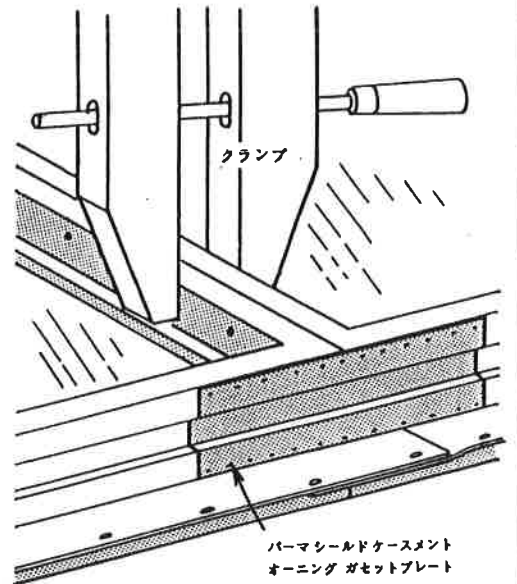


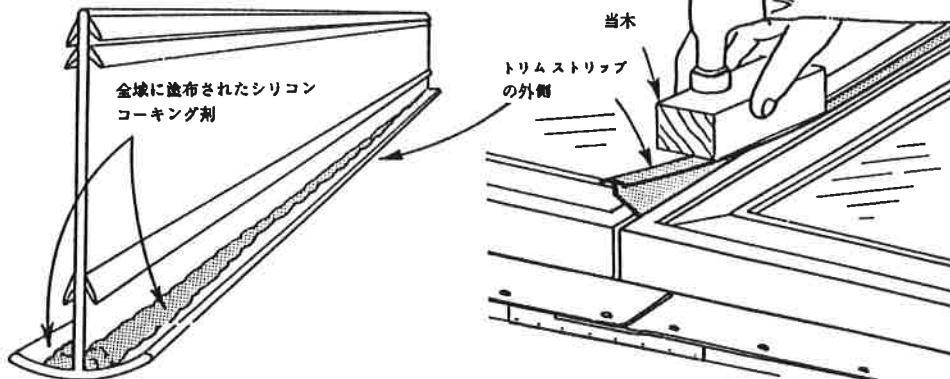
図3.

パーマシールドフレキシフレームガゼットプレート



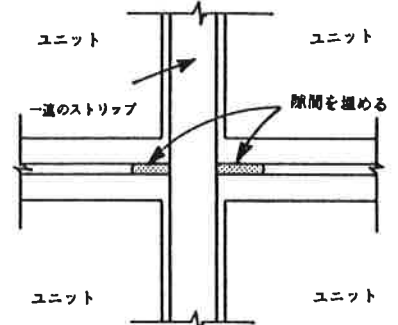
パーマシールドケースメントオーニングガゼットプレート

6. 外部トリムストリップの取付け



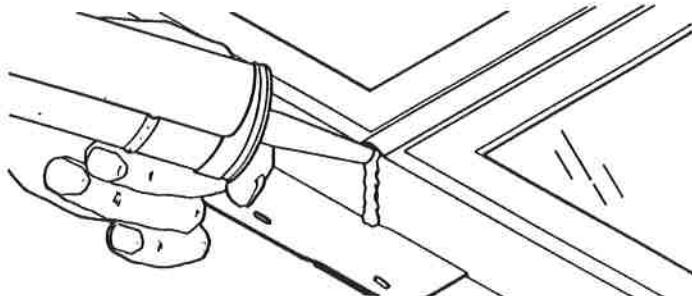
I. トリムストリップの両サイドにシリコンコーキング剤をたっぷり塗布します。ユニットを外側が上になるようにひっくり返して下さい。ハンマーと木のブロックで軽くたたきながらトリムストリップをユニットの間にしっかりと収まるまで入れます。トリムストリップの表面からはみ出た余分のシリコンを取り除いて下さい。

7. マルチユニットの接合



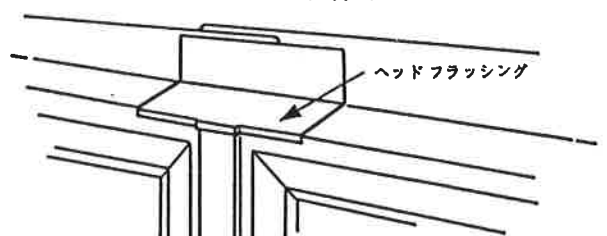
J. 多数のユニットで構成される連窓の交差部については、最初に一連のトリムストリップ取付手順に従って下さい。そして、残りのトリムストリップを取付ける前に、交差部の隙間をシリコンで埋めます。交差部の縦側のトリムに水平側のトリムを合わせます。

8. シリコンコーキング剤を接合部に塗布



K. トリムストリップの全端を適切な色のシリコンで密閉します。道具を用いて表面をスムーズにして下さい。

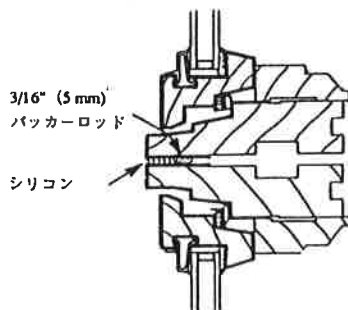
9. ヘッドフラッシングの取付け



L. マリオン接合部153mm幅の上枠表面をきれいにした後、ヘッドフラッシングの接着部分に付いている保護テープを剥がし、接合部の中心に合わせて強く押してこのフラッシングを固定します。

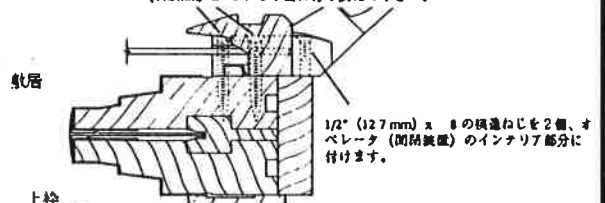
トリムストリップなしでの組立

ステップ1から5に従って下さい。硬いブラシで接触全表面に、ダウコーニングの1205番シリコンプライマーを薄く塗ります。溶液が完全に蒸発するまで下塗りを乾燥させます。そしてポリエチレンフォームまたはネオプレンバックカーロッドを深さ3/8" (10mm) 溝に取付け、全長にシリコンを塗布します。側枠面の下部表面をくぼませ、ステップ8のようにマリオン全端を接合します。



オーニングユニットの積み重ね方

1-3/8" (35mm) x 8ねじを3個取り外し、図に示されている1-3/4" (44.5mm) x 8ねじ3個に付け換えて下さい。



操作ユニットを積み重ねる時、積み重ねユニット上にオペレータ (開閉装置) を固定する特別なねじがあります。オペレータ (開閉装置) の下のトリム部材が裂けるのを防ぐために横ねじが使用されます。

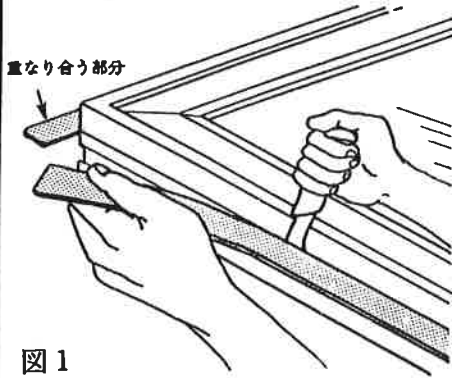
ナローマリオンの及びトランサム 接合方法



正しい取付けの重要性

経験誇るアンダーセン社の窓のデザインとエンジニアリング、品質高い材料、そして優れた職人によって製造され、その利点を最大に活用させるためには、アンダーセン窓の正しい取付けと管理が不可欠になります。取付けについて一般に勧められていることは、ガイドラインにすぎません。取付け方法はそれぞれ異なりますので、アンダーセン製品の取付け前には必ず地域のアンダーセン業者または経験ある契約業者、建築家、または構造エンジニアに相談することを強くお勧めします。アンダーセン製品の取付けは、建築家、建物の所有者、契約業者、そして/または消費者の単独責任となり、アンダーセン社はこの件に関して一切責任を負いません。

1. ユニットの準備



- A. ユニットを、外側を上にした状態で作業台又は床上に置きます。
 - B. 接合部側の側枠に付いている窓保護用ブロックを取り除きます。
 - C. ナイフで接合側のフランジを切り取ります。この際、フランジは全て切り取らず、横に並べて連窓する場合は右側下部に、縦に積み重ねて連窓する場合は接合部の両サイドに、それぞれ重なりあう部分を残しておきます。(図1)
- フレキシフレームの場合、フランジをユニットの溝から引っ張り出して取り除きます。(図2)

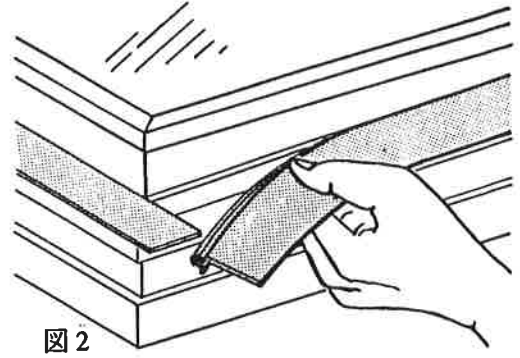
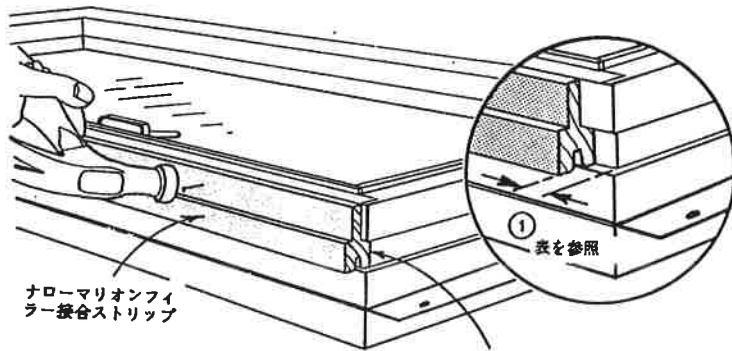


図1

図2

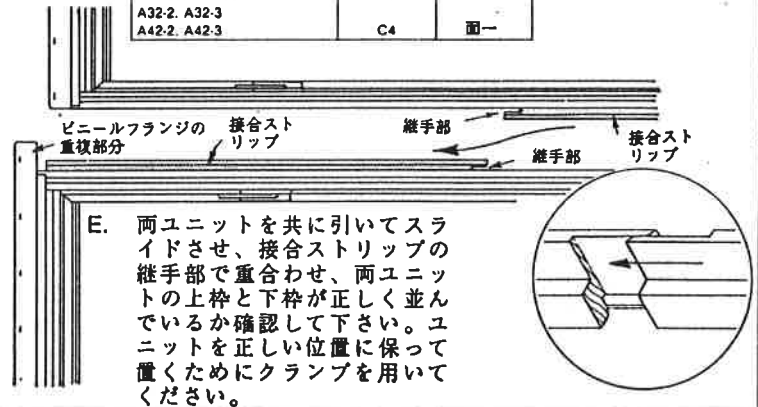
2. 2片のナローマリオンのファイラー接合ストリップの取付け



ファイラーストリップは側枠の溝の下部に面一

- D. 各側枠に接合ストリップの1片を、側枠の溝の下部に面一となるように取付けます。この際、継手部を側枠の中央に位置するようにします。25.4mm長さの釘で152mm間隔で互い違いに打ち、固定します。継手部の端から約50.8mmの位置で釘を2つ打ちます。窓をより良く接合するために継手部にコーキングを行って下さい。

オーニングユニットを組むに2、3パネル、積み重ね2、3パネル	使用される接合ストリップ	① 溝の下部から内側にずらす
AN31-22, AN31-32, AN351-22, AN351-32, AN41-22, AN41-32	C35	4mm
AN31-33, AN31-23, AN351-23, AN351-33, AN41-23, AN41-33	C5	23.8mm
A21-22, A21-32, A351-22, A351-32	C4	4.7mm
A21-23, A21-33, A31-23, A31-33, A351-23, A351-33, A41-23, A41-33, A32-2, A32-3, A42-2, A42-3	C6	9.5mm
	C4	面一



3. クランプの使用及び釘の交差

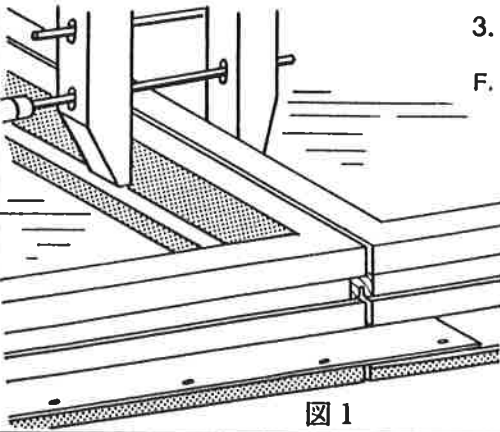


図1

- F. 接合部側枠から内部押縁を取り外します。側枠の内側が面一となっているよう、クランプで締めます。63mm長さのコート釘または50mm長さの石膏ボード用ネジを、152mm~203mm間隔で互い違いに側枠に打ち込みあるいはねじ込みます。この時、釘あるいはネジはビニル被膜の端から6mm離して下さい。接合ストリップの溝に釘やネジが通らないように気をつけて下さい。(図2)
- 注: ねじを使用する場合、予め穴を開けておくこと。

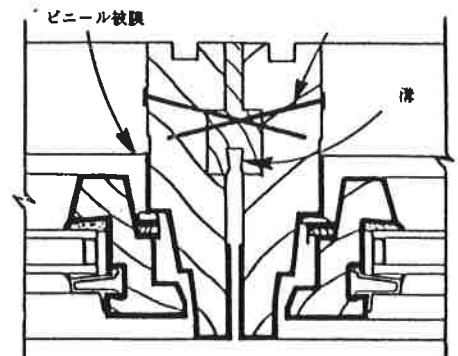


図2

ナローマリオン及びトランサム
接合方法

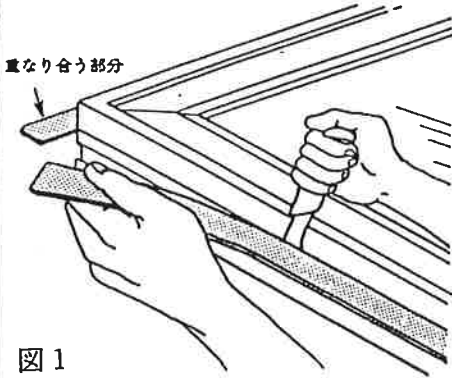


34 ~ 39

正しい取付けの重要性

経験誇るアンダーセン社の窓のデザインとエンジニアリング、品質高い材料、そして優れた職人によって製造され、その利点を最大に活用させるためには、アンダーセン窓の正しい取付けと管理が不可欠になります。取付けについて一般に勧められていることは、ガイドラインにすぎません。取付け方法はそれぞれ異なりますので、アンダーセン製品の取付け前には必ず地域のアンダーセン業者または経験ある契約業者、建築家、または構造エンジニアに相談することを強くお勧めします。アンダーセン製品の取付けは、建築家、建物の所有者、契約業者、そして/または消費者の単独責任となり、アンダーセン社はこの件に関して一切責任を負いません。

1. ユニットの準備



- A. ユニットを、外側を上にした状態で作業台又は床上に置きます。
- B. 接合部側の側枠に付いている窓保護用ブロックを取り除きます。
- C. ナイフで接合側のフランジを切り取ります。この際、フランジは全て切り取らず、横に並べて連窓する場合は右側下部に、縦に積み重ねて連窓する場合は接合部の両サイドに、それぞれ重なりあう部分を残しておきます。(図1)

フレキシフレームの場合、フランジをユニットの溝から引っ張り出して取り除きます。(図2)

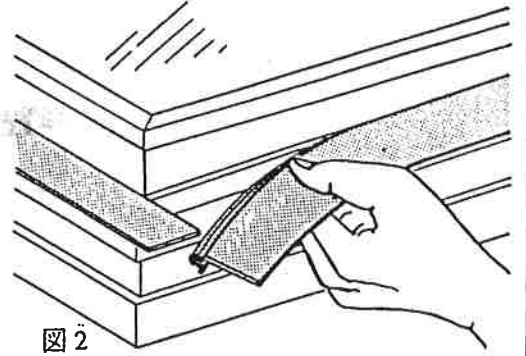
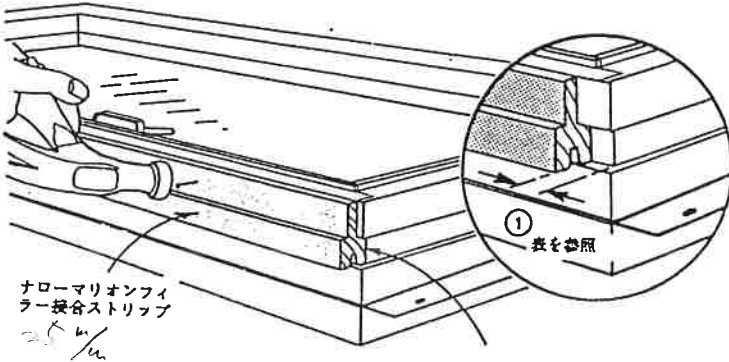


図1

図2

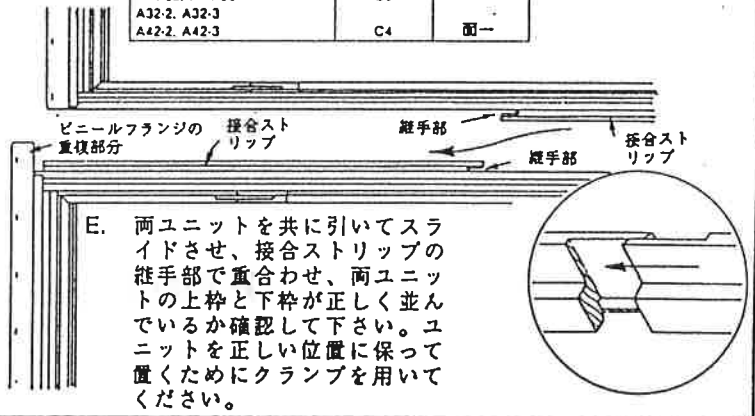
2. 2片のナローマリオンファイラー接合ストリップの取付け



ナローマリオンファイラー接合ストリップ
25 1/4"

ファイラーストリップは側枠の溝の下部に面一

オーニングユニットを型に2、3/4 または、組み立て2、3/4	使用される 接合ストリップ	溝の下部 から内側 にずらす
AN31-22, AN31-32, AN351-22, AN351-32, AN41-22, AN41-32	C35	4mm
AN31-33, AN31-23, AN351-23, AN351-33, AN41-23, AN41-33	C5	23.8mm
A21-22, A21-32, A351-22, A351-32	C4	4.7mm
A21-23, A21-33, A31-23, A31-33, A351-23, A351-33, A41-23, A41-33	C6	9.5mm
A32-2, A32-3 A42-2, A42-3	C4	面一



- 1. 各側枠に接合ストリップの1片を、側枠の溝の下部に面一となるように取付けます。この際、継手部を側枠の中央に位置するようにします。25.4mm長さの釘で152mm間隔で互い遠くに打ち、固定します。継手部の端から約50.8mmの位置で釘を2つ打ちます。窓をより良く接合するために継手部にコーキングを行って下さい。

- E. 両ユニットを共に引いてスライドさせ、接合ストリップの継手部で重合わせ、両ユニットの上枠と下枠が正しく並んでいるか確認して下さい。ユニットを正しい位置に保つて置くためにクランプを用いてください。

3. クランプの使用及び釘の交差

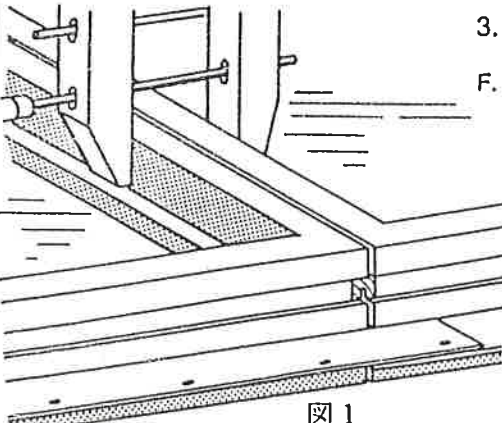


図1

- F. 接合部側枠から内部押縁を取り外します。側枠の内側が面一となっているよう、クランプで締めます。63mm長さのコート釘または50mm長さの石膏ボード用ネジを、152mm ~ 203mm間隔で互い遠くに側枠に打ち込みあるいはねじ込みます。この時、釘あるいはネジはビニール被膜の端から6mm離して下さい。接合ストリップの溝に釘やネジが通らないように気をつけて下さい。(図2)

注：ねじを使用する場合、予め穴を開けておくこと。

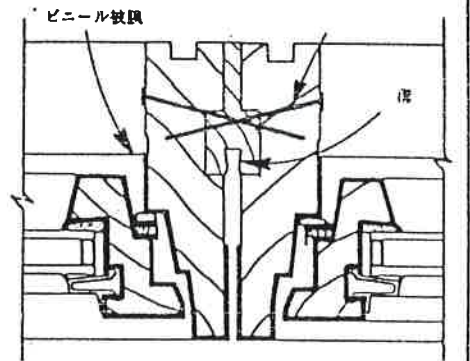
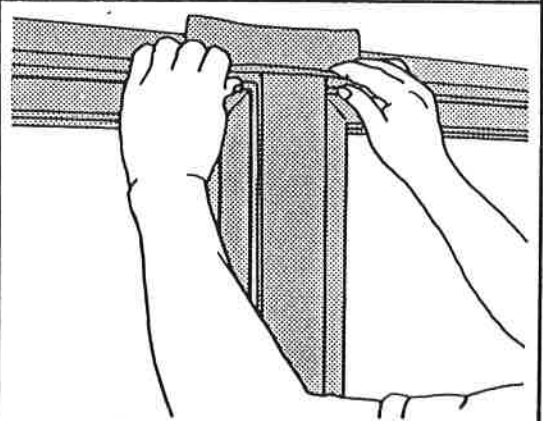
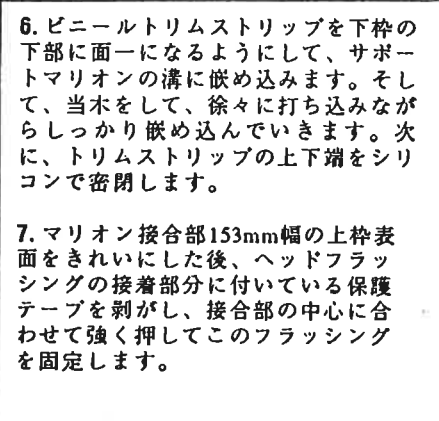
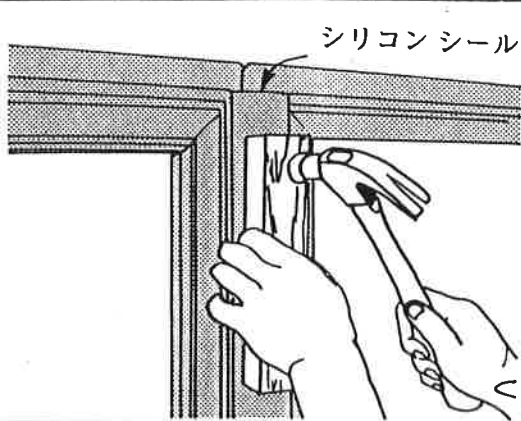
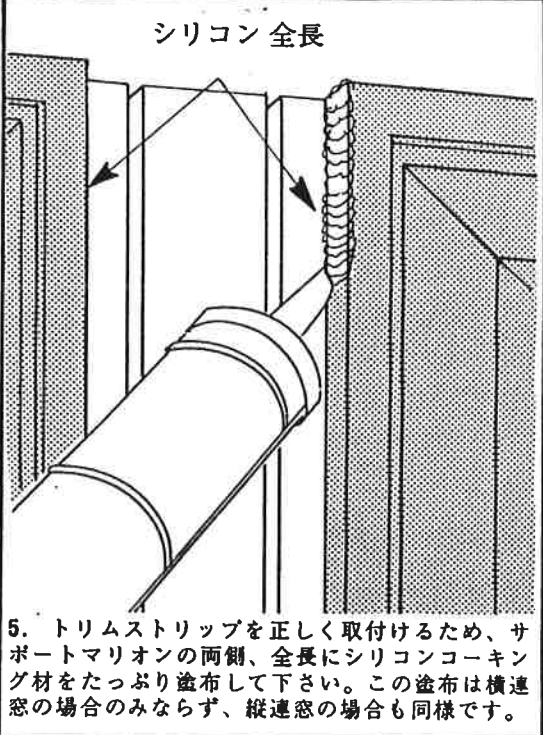
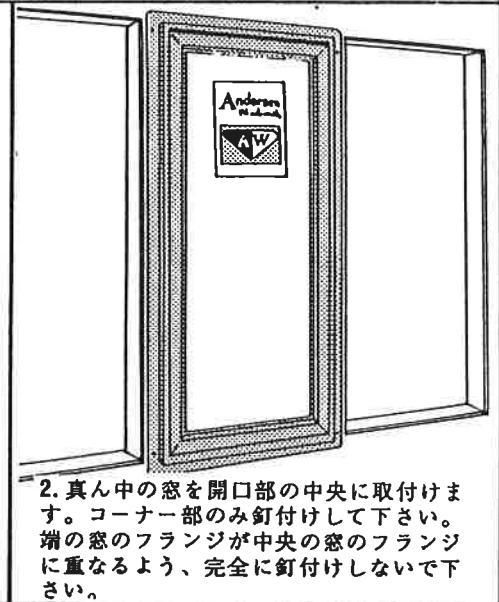
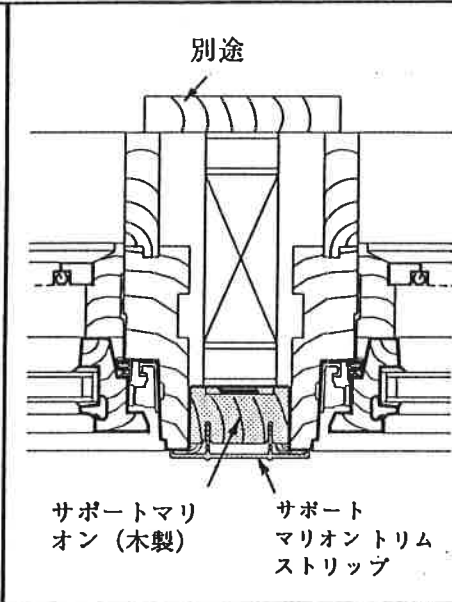
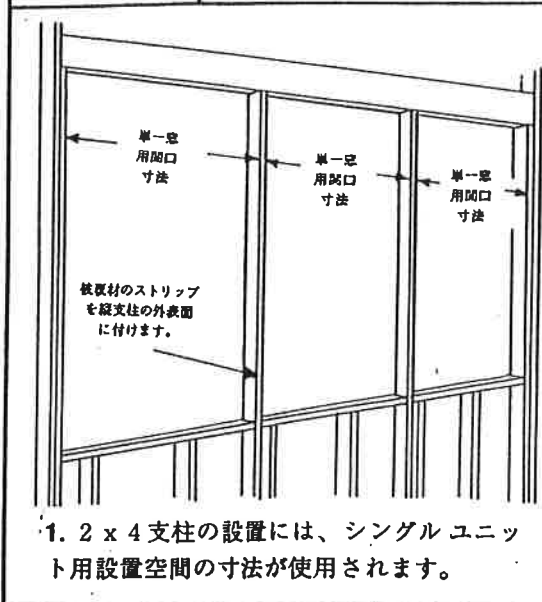


図2

パーマシールド ケースメント及びオーニング窓 サポートマリオンによる連窓方法



アンダーセン®

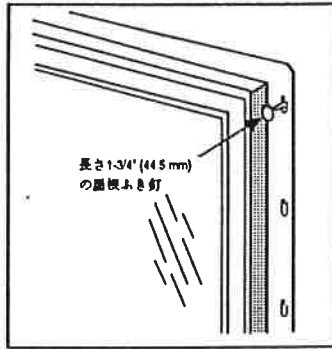
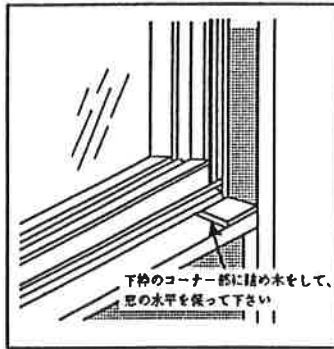
ケースメント及びオーニング窓

良品質をわが家へ。アンダーセンをわが家へ。®

フレームウォールの取付けに関する提案事項

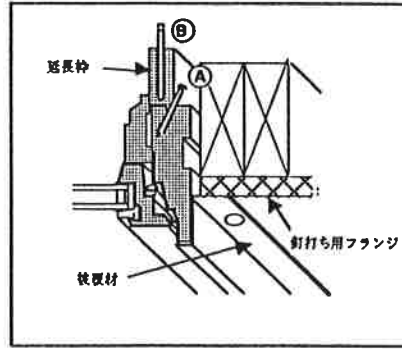


こちら側を上にして取付けて下さい。



(このユニットは縦方向にのみ取付けて下さい)

取り付け者への注意事項
内部押し線は仮留されています(運送や仕上げの際に取り外すことができます)。嵌めし窓の押し線は38mmの仕上げ用釘を用いてサッシにぴったりきかせて釘付けして下さい。開閉窓の押し線は取付け後、下枠の裏側で再度取り付けて下さい。サッシを閉めて、ロックし、サッシとの間に0.4mm(折たみマッチの紙厚位)の隙間をあけて38mmの仕上げ用釘にて釘付け、固定して下さい。絶縁押し線をサッシに押しつけて下さい。



1. 窓取付ブロックを取り外します。
2. 開口が正しくなされているか確認して下さい。窓台は必ず水平にしておいて下さい。
 - a. サッシを閉め、ロックします。
 - b. 窓を開閉部の中心に置きます。この時、窓台が水平であることが必要ですので、窓枠部の下枠と窓台の間に詰め木をして水平を確認して下さい。上図を参照して下さい。
 - c. 最初に上枠のコーナー部のフランジを釘止めます。次に窓の水平を確認しながら反対側の上枠コーナー部のフランジを釘止めます。取付けには4.4mmの屋根よき釘の使用をお勧めします。なお、外壁下地材に低密度の断熱材を使用する場合、取付フランジが曲がり歪んだりするのを防止するため、釘打ちは仮止めの程度にとどめて下さい(窓の調整終了後に打ち込みます)。
3. 窓を真っ直ぐに保ち、サッシの窓枠全体が真っ直ぐか点検し、残りの下枠コーナー部のフランジ2ヶ所を釘止めて下さい。
4. 窓を真っ直ぐに、水平、垂直を保ち、必要箇所に詰め木をして下さい。垂直状態で取り付けを避けるため、上図のように適切に詰め木をし、また、窓中央部の窓枠間の巾を点検して下さい。最後にその他の箇所への釘打ちを行って下さい。
5. フランジ上に外壁が施された後、窓回りをシールして下さい。
6. 速窓(ナローマリオン方式あるいはサポートマリオン方式)方法についての説明書はアンダーセン社のディストリビューターあるいはディーラーにお求め下さい。

7. 窓枠と開口の間に生じた隙間に断熱材を埋めて下さい。注:断熱材を詰め過ぎないで下さい。側枠が曲がることがあります。また膨張タイプの発泡断熱材は側枠を曲げ、操作が困難になる場合があります。

延長枠の取付け

8. 窓を取り付ける前に延長枠を取り付ける場合、上図にAに示されているように、上側から側枠に釘を斜めにするか、予め開けられた穴を穿通して下さい。
9. ユニットが取り付けられた後で延長枠を取り付ける場合は、上図Bのように予め開けられた穴を利用して釘付けして下さい。

使用推奨釘:

■ 寸法4-9/16" (116.6mm) - 10d仕上げ釘

■ 寸法5-1/4" (133mm) - 10d仕上げ釘

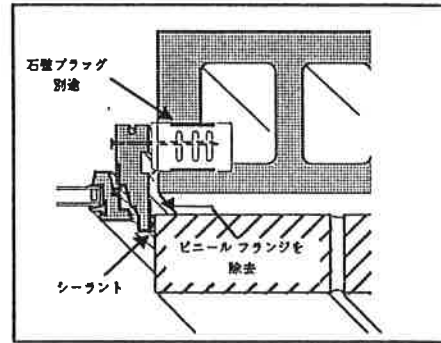
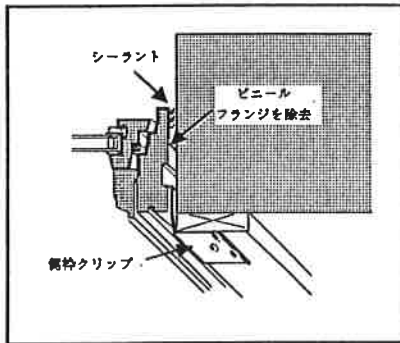
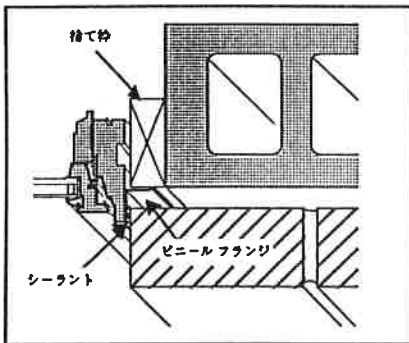
■ 寸法8-9/16" (166mm) - 10dケーシング釘または16d壁掛け釘

(より強力な接合にはカウンターシンク釘を使用して下さい。)

注意: 内部の押し線については、仮留め用の釘を抜き、あらためて38mmの仕上げ用釘で固定して下さい。

石壁およびブリックベニアへの取り付けに関する提案事項

(窓は縦方向においてのみ取付けて下さい)



- 捨て枠を使用する場合にはフレームウォールの場合と同じ手順に従って下さい。
- a. 取付けフランジの切除が必要な場合もあります。
 - b. 上部および側部において、石壁およびブリックベニアと窓枠間に、最低12mmの隙間を取って下さい。隙間はチューブないしシリコンで埋めて下さい。
- 捨て枠を使用しない場合
- a. サッシを閉め、ロックして下さい。内部の押し線を外して下さい。
 - b. ブリック仕上げが施されている場合は、取付フランジを全てナイフにて切除して下さい。

- c. 窓を開閉部の中心に真っ直ぐに、垂直、水平に置きます。必要に応じて窓の周りに詰めをして下さい。ステップ4を参照して下さい。
- d. 側枠クリップで窓を上窓のように板状のストリップに固定するか、側枠から石壁とのイント部に位置しているメタルウォールプラグ(別途)に釘止めて下さい。固定部め木して下さい。
- e. 外してあった内部押し線を再度38mmの仕上げ釘にて釘付けして下さい。
- f. ブリックの洗浄に通常用いられる酸性溶液は、パーマシールドビニールには影響しますが、ガラスには影響を与えます。腐食を防止するため、ガラス表面に飛び散った酸性はすぐ水で洗い流して下さい。

アンダーセン社のケースメント及びオーニング窓は次の規定を満たしています。
NHWDA (金米木製窓ドア協会) IS-4 (NHWDA ライセンス No. 129)
CANCSA-A440-M90 (CCMC E.L. 12315-L) (CCMC E.L. 12315-L)

	気密性	水密性	風圧抵抗力
ケースメント	A-3	B-7	C-4
オーニング	A-3	B-3	C-2
	Étanchéité à l'air	Étanchéité à l'eau	Résistance aux Surcharges dues au vent

アンダーセン製品テストは、ASTMのテスト手順とNHWDAの規定に従って、独立した研究所で行われています。その性能基準はアンダーセン研究所で行われる継続的な実験プログラムによって、さらに確かなものとなっております。

アンダーセン社のケースメント及びオーニング窓は、下記の米国特許下で製造されました: 3,340,665; 2,926,729 および 3,432,065。カナダ特許: 750,928 および 780,225。出願中。

ペンキ、クリーニング、および一般的なメンテナンスについての情報は、オーナーズマニュアルを参照して下さい。

注意: 特別注文されない限り、アンダーセン窓は、安全ガラスでできていませんので、万一割れた場合、破片だけがをすることがあります。法律や建築法規の多くは、窓の取付位置が低い場合、もしくは窓がドアに隣りあう場合には安全ガラスを義務付けています。アンダーセン窓は、割れた場合そのようなけがの発生を少なくする安全ガラスでできた製品もあり、入手可能です。安全ガラスについての資料は地域のアンダーセン業者までお問い合わせ下さい。

注意: ガラスにある種のフィルム(両面)が付けられたり、ある種の断熱材または遮光装置がユニットに設置されると、ユニットに影響を及ぼす恐れがあります。アンダーセンは、これらの部材や装置がアンダーセンの製品に適用される場合、製品性能について一切責任を負いません。

重要: ナイトカラーのパーマシールド製品は品質高い断熱材の検知が可能です。クレオソートベースの塗料は絶対パーマシールド製品に付れさせないで下さい。外周部のウェザーストリップには塗料を付けないで下さい。断熱材の付いたクリナーや金属を腐食させる物質を含んだ溶剤はパーマシールド製品には絶対使用しないで下さい。ペンキや塗料は白およびサンダーカラーのビニールを傷つける恐れがあります。さらに詳しい説明が必要な場合は、アンダーセン社にお問い合わせ下さい。

Copyright © Andersen Corporation, Bayport, MN 55003 Label #0000821 Revised 8/93

品質高いアンダーセン窓及びパティオドアをお選び頂きありがとうございます。